

第2学年1組 国語科 学習指導案

日時 平成27年11月6日(金)
場所 広瀬中学校図書館
授業者 教諭

1. 単元名 いにしへの心を訪ねる 「仁和寺にある法師－『徒然草』より」

2. 単元のねらい

- ・作者のものの見方や考え方について関心を持ち、進んで感想を交流しようとする。【国語への関心・意欲・態度】
- ・人物像や場面の状況を捉えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取ることができる。【読む能力】
- ・「パンフレット作成」を通して、効果的な表現や説明を工夫し、自分の考えをまとめることができる。【書く力】
- ・古語の意味や当時の世相に注意しながら内容を読み取り、パンフレット作成に活かすことができる【言語についての知識・理解・技能】
- ・古典の中のものの見方や考え方にふれ、現代との共通点や相違点に気づくことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

3. 図書館活用教育の視点

- 集めた情報を比較・選択する力を身につける。
- 調べたことや自分の考えをパンフレット作成によって、読み手にわかりやすく表現する力を身につける。

4. 学習の基盤

①教材観

『徒然草』は兼好法師の随筆で、説話的な出来事に内在する人間の意識や、生活の知恵、笑い話に通ずる教訓など全二百四十三段から成り立っている。本教材では、この文章を書くに至った作者の心境を述べた序段と、独り合点に陥った人間のおかしさを簡潔に表現した「仁和寺にある法師」の二作品が取り上げられているが、その他の段においても、現代社会にも通ずるような様々な人間観・人生観が興味深く描かれている。中学生にも読みやすくわかりやすい内容であり、古典の随筆に親しむのにふさわしい作品であるといえる。

②生徒観

③指導観

本単元では、2つの段を読み内容をとらえた後、自分の好きな段を選んで調べ学習を行い、パンフレット作りを行う。パンフレットには、古典文の視写やあらすじ、イメージ画、人物描写、四コマ漫画等、自分の取り組みやすい方法で表現する。事前に教師が「仁和寺にある法師」の段でパンフレットの見本を作っておき、学習の流れを示しておきたい。また、情報カードを使用しなくても、調べた情報を付箋に下書きして何枚か貼ることにより、簡単にレイアウトができることをアドバイスしておく。それをそのまま清書することにより、制作時間も短縮できると考えている。資料から情報を選ぶ際には悩む生徒もいると思われるが、T1をはじめT2、T3が支援し、様々なアイデア例を示していればと考えている。作成後は、友達や家族から感想をもらい、さらにパンフレットを埋めていく。本時ではこうしてできあがったパンフレットをグループで発表し意見交換する。さらに新しい知識を得たり、自分の考えと比較したりすることができるであろうと思われる。最終的には、作者のものの見方や考え方について改めて考え、自分の生活あるいは現代社会にも通じる文章であることに気づいてほしいと考えている。

5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く力	言語の知識・理解・技能
取り上げた段のテーマについての自身の考えを提示し、思考に役立つ内容を聞き取りながら話し合おうとする。	意見交流の活動を通して得た考えとパンフレット作成の資料とを考え合わせ、根拠を明確にして、自分の考えをまとめることができる。	読み手を意識し、適切な情報を、読みやすい大きさの字でわかりやすく表現することができる。	古語の意味や当時の世相に注意しながら内容を読み取り、パンフレット作成に生かすことができる。

6. 単元の指導計画と評価計画（全6時間）

次	主な学習活動	時	評価				主な評価規準（評価方法）
			関	読	書	言	
1次	○『徒然草』序段と第五二段を読み、内容を捉え、作者の考え方に触れる。 ○教師のパンフレット作品を参考にして自分のパンフレット作成の段を決める。	2	○	○		○	作品の背景や作者の生涯などに注目して本文を読み、語句や資料を取り上げようとしている。（活動の観察） 【関】 現代語訳を手がかりにして、執筆の動機や逸話の教訓などを考え、要約できる。（ワークシート）【読】 文脈の中での古語、語句の意味を捉えることができる。（ワークシート・発言）【言】
	○パンフレットを作成する。	2	○	○	○	○	図書資料を参考にして、取り上げる段のテーマを読み取ろうとしている。（活動の観察）【関】 図書資料の図説や写真による説明や表現を理解している。（付箋・活動の観察）【言】

						<p>表現の特徴に注意し、兼好法師の主張したいことや教訓などについて考える。(付箋・活動の観察)【読】</p> <p>パンフレットに必要な情報を収集し、付箋に書き出している。(付箋)【書】</p> <p>あらすじを要約し、読み手を意識して適切な情報をわかりやすく表現することができる。(パンフレット)【書】</p>
次	<p>○パンフレットを読み合い、意見交換をする。</p> <p>○メモをもとに自分の取り上げた段についての考えをまとめる。</p>	1	○	○	○	<p>自分のパンフレットについて読み取ったテーマを話したり、メモを取りながら他の人の話を聞いていたりしている。【関】(ワークシート・活動の観察)</p> <p>お互いのパンフレットを読み合い、感じたことを自分の言葉で表現している。【読】(発表)</p> <p>話し合いの活動を通して得た表現と自分が取り上げた段についての考えを合わせ、根拠を明確にして、自分の考えをまとめている。【書】(ワークシート)</p>
	<p>○パンフレットを持ち帰り、家庭で兼好法師の主張や教訓について話す。</p>	課外				
	<p>○グループでの意見交流を通じて、自分の捉えた兼好法師の考え方やものの見方についての考えをまとめる。</p>	1	○	○		<p>取り上げた段のテーマについての自身の考えを提示し、思考に役立つ内容を聞き取りながら話し合おうとする。(観察・ワークシート)【関】</p> <p>文章に表れている兼好法師の主張や教訓と意見交流で得られた情報とを加えて、知識や体験と関連づけて、自分の考えをまとめることができる。(パンフレット・ワークシート)【読】</p>

7. 本時の学習と計画と評価基準 (第2次 6時間目)

(1) 本時のねらい

- ①取り上げた段のテーマについての自身の考えを提示し、思考に役立つ内容を聞き取りながら話し合おうとしている。【国語への関心・意欲・態度】
- ②根拠を明確にして、自分の考えをまとめている。【読む能力】

(2) 本時の展開

分	学習活動	教師の支援	評価
5	○本時の学習目標と学習活動の流れを確認する。	○本時の学習のねらいと学習活動の見通しがもてるよう簡潔に板書し、解説する。	<p>○取り上げた段のテーマについての自身の考えを話し、思考に役立つ内容を聞き取りながら話し合おうとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度】(観察・メモ)</p> <p>○意見交流の活動を通して得た考えとパンフレット作成の資料とを考え合わせ、根拠を明確にして、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>【読む能力】(ワークシート)</p>
10	○パンフレットにまとめた主張や教訓について確認する。	○要約や段の紹介の確認をし、注目すべき表現を押さえながら得た情報や意見を整理できるように支援する。	
20	○グループでパンフレットに取り上げた段について話し合う。	○兼好法師の主張や教訓をどう考えるかをお互いが語り、聞き合えるようグループ内で支援する。	
10	○作者のものの見方・考え方についての考えをまとめる。	○話し合いの内容と古文の内容とを確認し、友達からの感想を取り入れて考えをまとめるよう支援する。	
5	○本時の学習を振り返り、分かったことや感想を書く。	○振り返りの際、時間があれば数名に感想発表を促す。	

(3) 評価

	十分満足と思われる生徒の具体例	おおむね満足と思われる生徒の具体例	努力が必要と思われる生徒の具体例と支援
国語への関心・意欲・態度	自身の考える兼好法師のものの見方や考え方の捉えを、体験や具体例をまじえて話そうとしている。	積極的に自身の取り上げた段のテーマとの関わりについて話そうとしている。	他の生徒の意見を聞き、自身が共感できることについて話すように促す。
読む能力	筆者の考え方を明確に捉え、自分の意見と対比させながら、筆者の主張や教訓との関わりについて考えている。	筆者の考え方やものの見方をもとにして、自分の生活との関わりについて考えている。	初めの段落にある筆者の考えを表す言葉に注目させ、それについての自分の考えをまとめさせる。

(4) 授業研究の視点

○図書資料を活用してパンフレットを作成し、級友との意見交流や保護者からの助言も得る学習活動は、ねらいを達成する上で効果的であったか。